

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

## 1. HAHT チームの活動の実施

### ■在宅訪問

土・日を基本にプレイワーカーと看護師がペアになり、月 3 回程度の訪問を行う。(ご家庭により、学生ボランティアの同伴あり) 2～3 時間の間、プレイセラピー・ミュージックセラピーを行い「こども時間」として、その子供の発育年齢・能力・興味・疾患の特徴の合わせた楽しい取り組みを行った。

今年度より平日、月 4～5 回の訪問をスタートさせた。

### ■わくわくタイム (デイケア)

月 1 回、広いプレイスペースをお借りし、プレイワーカー・音楽療法士・看護師・ボランティアが、数組のご家族の皆さんを招待し季節を感じるイベントなどを行った。

#### 開催実績

開催日	テーマ	参加ご家族数	開催場所
7 月 7 日 (土)	第 1 回：七夕&夏祭り	2 家族	関西国際大学
9 月 29 日 (土)	第 2 回：運動会	2 家族	関西国際大学
11 月 10 日 (土)	第 3 回：芸術の秋	3 家族	関西国際大学
12 月 15 日 (土)	第 4 回：クリスマスパーティー	2 家族	関西国際大学
1 月 26 日 (土)	第 5 回：お正月・伝承あそび	4 家族	関西国際大学
2 月 23 日 (土)	第 6 回：ひな祭り	5 家族	関西国際大学

### ■わくわくプレスクール (デイケア)

月 1 回、広いプレイスペースをお借りし、プレイワーカー・音楽療法士・看護師・ボランティアが、就学前の「お兄さん・お姉さん」になりゆく子どもたちに見る・聴く・触る等の感覚の土台をしっかりと創りながら「さまざまな感覚や刺激を受け止められる力」「自分の想いを周りに出す力」「感じたことを人と共感できる力」を目標にし、数組のご家族の皆さんを招待し季節を感じるイベントなどを行った。

#### 開催実績

開催日	テーマ	参加ご家族数	開催場所
7 月 21 日 (土)	第 1 回：開校式&夏祭り	4 家族	大阪市立光陽特別支援学校
9 月 15 日 (土)	第 2 回：運動会_プレリンピック	4 家族	大阪市立光陽特別支援学校
10 月 13 日 (土)	第 3 回：水中ロボットと遊ぼう！	5 家族	大阪市立光陽特別支援学校
12 月 8 日 (土)	第 4 回：クリスマスパーティー	5 家族	大阪市立光陽特別支援学校
1 月 19 日 (土)	第 5 回：伝承あそび	9 家族	大阪市立光陽特別支援学校
2 月 2 日 (土)	第 6 回：節分！豆まき	8 家族	大阪市立光陽特別支援学校
3 月 2 日 (土)	第 7 回：プレスクール閉校式	6 家族	大阪市立光陽特別支援学校

■チルドレンズトラベルメイト

普段自宅にこもりがちなご家族に、外出のきっかけや友達作りの機会を提供。プチ旅行には、添乗員とヘルパーの資格を併せ持つスタッフが同行。地元の企業や慈善団体などの協力を得て、日ごろは経験できないような小旅行を行った。

開催実績

開催日	テーマ	参加ご家族数
7月28日(土)	東大寺・奈良親子レスパイトハウス : 奈良親子レスパイトハウス様共催	5家族
9月8日(土)	ユニバーサルスタジオジャパン : ユニバーサルスタジオジャパン様よりご招待	5家族
12月14日(土)~16日(日)	プレミアムナイトパレード : 大阪シティクルーズ協議会様よりご招待	29家族

■特別支援教育

平日(週5回)東淀川高校にて、子どもの病気や状態に合わせて、看護師・プレイワーカー等の専門知識を持ったスタッフが対象の子供が通う学校へ訪問し学習活動サポートや他余暇休暇のサポートも行った。

修学旅行(九州)に2名付き添った。

2. ビリーブチーム(遺族支援)の活動の実施

子どもを失った経験をもつボランティアが子どもを失った遺族を訪問や、電話でお話をお聞きしサポートを行った。又、月1回依頼者に適切なサポートを行うための研修を開催した。

訪問回数 6回

3. 事務局管理(ファンドレイジングを含む)

事務局内でのファンドレイジング関連の経理作業、各チームの受付窓口として活動。スタッフ活動費や講演会費等、「こどものホスピスプロジェクト」のあらゆる活動を支えるための資金集めを行うため、ホームページやセミナーイベント等で、こどものホスピスプロジェクトをより多くの方に周知・啓発していただき同時に賛助会員や寄付を募った。

開催実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体概要パンフレット制作</li> <li>・寄付型自動販売機パンフレット制作</li> <li>・寄付型自動販売機設置受付開始(日本財団様のご協力のもと)</li> <li>・facebook「いいね!」1300人突破。</li> </ul>

4. その他

■あそびかた研究会

タケダ・ウェルビーイング・プログラム2012の助成を受け、こどものホスピスプロジェクト・しぶたね(Sibling Support たねまきプロジェクト)・あそぼっくるの3グループが共催し、病気を持つ子どもやその家族のことや、

あそびの情報交換や新しいあそびのアイデア等学ぶために立ち上げたプロジェクト。助成期間は2012年12月～2013年11月。月に1度、講師を招いての研究会（うち2回は公開講座、4月は休み）を開催。

開催実績

開催日	テーマ	講師	開催場所
12月7日(金)	第1回：この講座を企画したお話しと、クリスマスの音楽を楽しもう	こどものホスピスプロジェクト：岡崎 伸、重山直子	都島センタービル6階会議室
1月24日(木)	第2回：病気の子どものきょうだいさんのお話と、新聞紙であそんでみよう	きょうだい支援ボランティアしぶたね：清田悠代、眞利慎也	都島センタービル6階会議室
2月15日(金)	第3回：入院中のこどもとあそびベッドサイドでできるあそびを考えてみよう	大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程：山下香苗、宮下佳代子	都島センタービル6階会議室
3月15日(金)	第4回：こどものホスピスのおはなしと、こんなあそびが人気でした	こどものホスピスプロジェクト：山地理恵、河本鈴代	都島センタービル6階会議室

以上